

2020年度前期

情報リテラシー（経済経営学部）

情報処理入門（国際コミュニケーション学部）

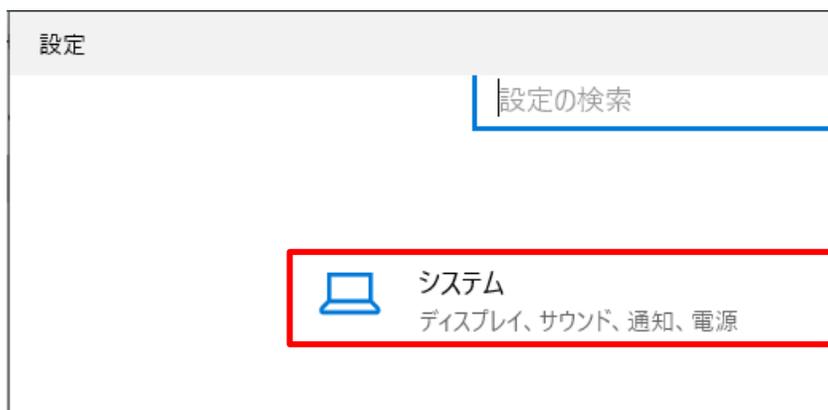
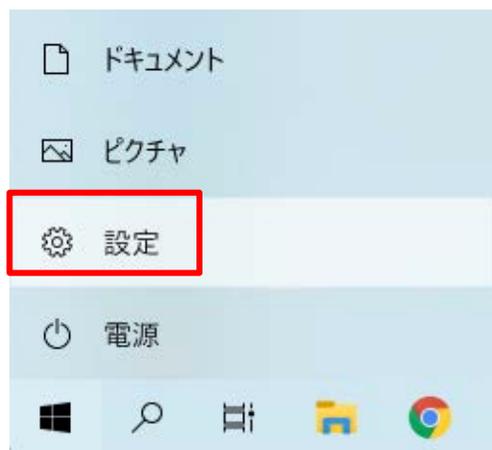
第5回課題：PCの確認

確認した内容の記入

- 情報リテラシー/情報処理入門 第5回 PCの確認フォーム
- 以下のフォームにこれから確認していく内容を入力して行ってください
- Macの人は以下のリンクを見て、分からないことはググりながら進めてください
 - Mac のモデルとシリアル番号を調べる - Apple サポート
 - <https://support.apple.com/ja-jp/HT201581>

ハードウェアとOSの情報

■スタートー設定ーシステムーバージョン情報



バージョン情報

デバイスの仕様

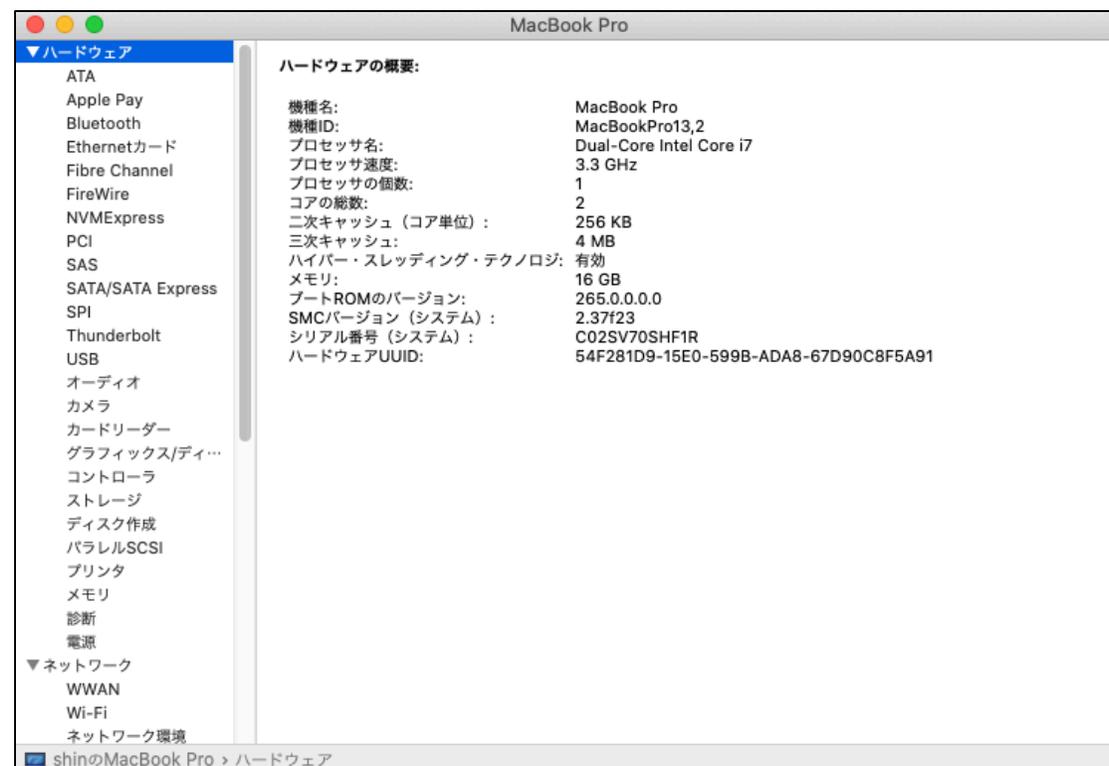
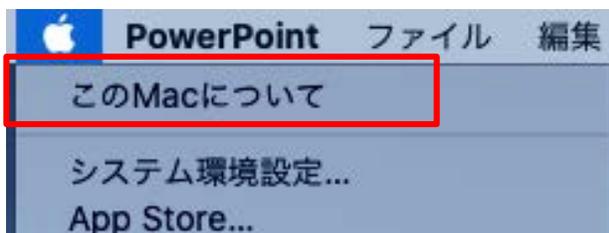
デバイス名	LAPTOP-U2B96KSO
プロセッサ	Intel(R) Core(TM) i5-10210U CPU @ 1.60GHz 2.11 GHz
実装 RAM	8.00 GB (7.77 GB 使用可能)
デバイス ID	7DDF9D0A-F052-48B3-9C17-917250404020
プロダクト ID	00325-81673-19245-AAOEM
システムの種類	64 ビット オペレーティング システム、x64 ベース プロセッサ
ペンとタッチ	このディスプレイでは、ペン入力とタッチ入力は利用できません

Windows の仕様

エディション	Windows 10 Home
バージョン	1909
インストール日	2020/05/13
OS ビルド	18363.836

ハードウェアとOSの情報

- アップルメニュー-このMacについて-システムレポート



Intel Core i プロセッサの世代

■ Intel Core i シリーズ CPU の世代は、CPU のモデル名の数字の部分で判断できます

■ 最新は第10世代

i の x には 3, 5, 7 が当てはまり、後の4桁 xxxx の先頭の数字 = 世代 と見分けることができます。(第1世代除く)

第1世代 数字が4桁ではなく3桁となっている (例: Core i7-880)

第2世代 数字が4桁で2で始まる (例: Core i7-2700K) Sandy Bridge 2011

第3世代 数字が4桁で3で始まる (例: Core i7-3770K) Ivy Bridge 2012

第4世代 数字が4桁で4で始まる (例: Core i7-4770K) Haswell 2013

第5世代 数字が4桁で5で始まる (例: Core i7-5775C) Broadwell 2015

第6世代 数字が4桁で6で始まる (例: Core i7-6700K) Skylake 2015

第7世代 数字が4桁で7で始まる (例: Core i7-7700K) Kaby Lake 2017

第8世代 数字が4桁で8で始まる (例: Core i7-8700K) Coffee Lake 2017

第9世代 数字が4桁で9で始まる (例: Core i7-9700K) Coffee Lake-R 2018

Comet Lake 2020

デバイスの仕様

デバイス名 LAPTOP-U2B96KSO
プロセッサ Intel(R) Core(TM) i5-10210U CPU @ 1.60GHz 2.11 GHz

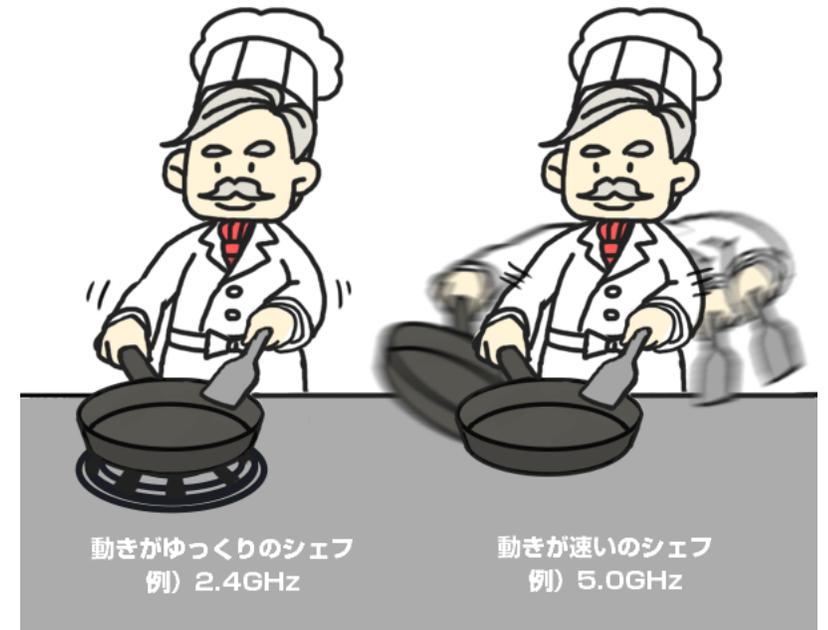
これは第10世代

Mac の CPU の型番や詳細情報の調べ方 | WebNexty

<https://webnexty.com/mac-cpu/>

プロセッサ（CPU）の周波数

- 周波数（クロック数、速度）
 - 数字が多いと性能が高い
 - 単位 GHz（ギガヘルツ）
 - 1GHzなら1秒間に10億個のデータの波が送られる



パソコン工房

デバイスの仕様

Windows 左側の数値

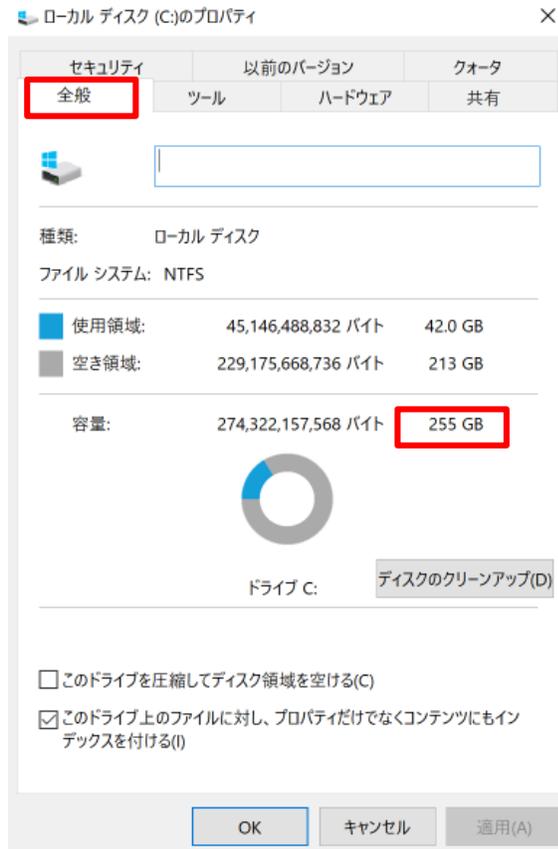
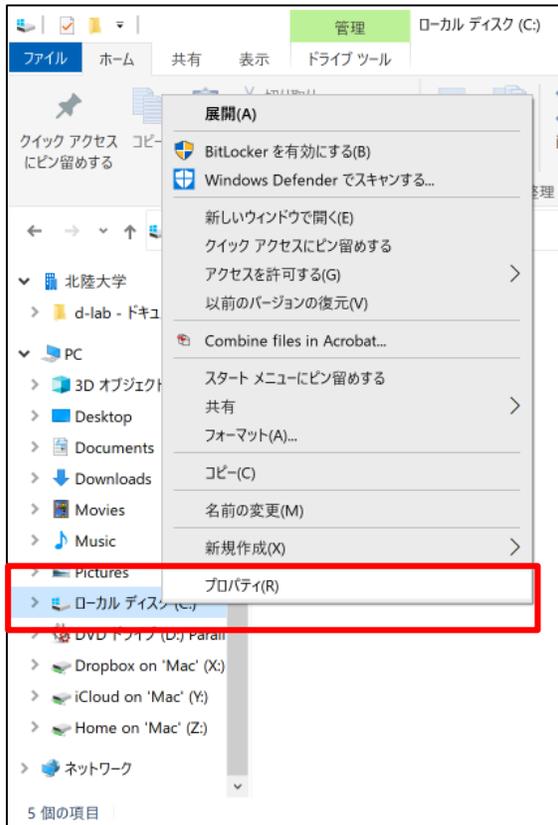
デバイス名 LAPTOP-U2B96KSO
プロセッサ Intel(R) Core(TM) i5-10210U CPU @ 1.60GHz 2.11 GHz

ハードウェアの概要:

機種名: MacBook Pro
機種ID: MacBookPro13,2
プロセッサ名: Dual-Core Intel Core i7
プロセッサ速度: 3.3 GHz
プロセッサの個数: 1
コアの総数: 2
二次キャッシュ (コア単位): 256 KB

補助記憶装置 (Windows)

- エクスプローラを起動 
- PC-ローカルディスク (C:) を右クリックしてプロパティ
- 全般タブの容量
- ツールタブの最適化でSSD (ソリッドステートドライブ) かHDD (ハードディスクドライブ) かを確認して、右下の閉じる



補助記憶装置 (Mac)

■ システムレポート - ハードウェア - ストレージ

MacBook Pro

ボリューム名	空き	容量	マウントポイント	ファイルシステム	BSD名
Macintosh HD	223.75 GB	499.96 GB	/	APFS	disk1s1
Macintosh HD - Data	223.75 GB	499.96 GB	/System/Volumes/Data	APFS	disk1s5

Macintosh HD:

空き: 223.75 GB (223,752,282,112バイト)
容量: 499.96 GB (499,963,174,912バイト)
マウントポイント: /
ファイルシステム: APFS
書き込み可能: いいえ
所有権を無視: いいえ
BSD名: disk1s1
ボリュームのUUID: C4D2FB8A-EE94-49A2-9119-673E57DF973F
物理ドライブ:
装置名: APPLE SSD AP0512J
メディア名: AppleAPFSMedia
メディアのタイプ: SSD
プロトコル: PCI-Express
内部: はい
パーティションマップのタイプ: 不明
S.M.A.R.T.状況: 検証済み

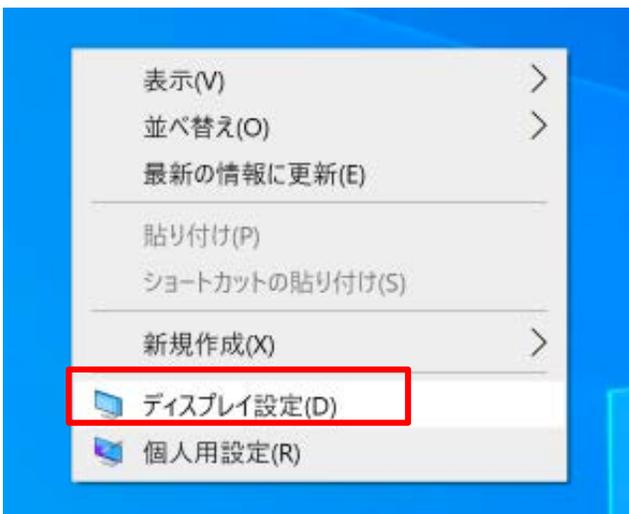
HDDの場合は「HDD」とか「SATAディスク」と表示

画面の設定

- 画面にどれだけの情報を表示できるかは以下の3つの関係で決まってくる
 - 物理的な画面の大きさ：12インチ, 13インチ, 15インチ, 17インチなど
 - 解像度：1920x1080（フルHD）など
 - 表示スケール（拡大率）：100%, 125%, 150%など
- 物理的に大きなディスプレイなら高解像度でも、100%スケールで普通に見える
- 物理的に小さなディスプレイで高解像にして、100%スケールで表示すると、すべてが小さく見える。125%や150%に拡大するとちょうど良い

画面の設定 (Windows)

- デスクトップの何も無いところを右クリックして「ディスプレイ設定」
- 解像度を一番高いものにする
- 表示スケールを100%にする
- 小さすぎたら表示スケールを125%、150%と変更して自分に最適な組み合わせを見つける（無駄に大きく表示しているともったいないかも）



ディスプレイ



画面の設定 (Mac)

- メニューバーのアップルメニュー () から「システム環境設定...」を選択。または、Dockの [システム環境設定] アイコンをクリック
- ディスプレイ
- 変更をクリックして自分にちょうど良い表示にする



ベンチマーク

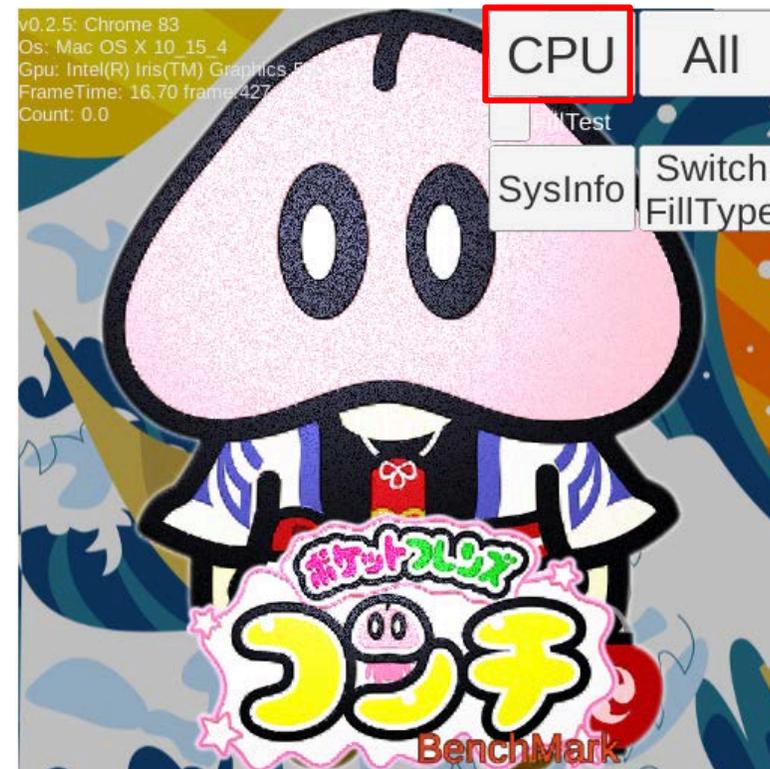
■以下のサイトに行く

- Unity WebGL Player | KonchiBench
- <https://hiryuma.github.io/KonchiBench/build/index.html>

■CPUをクリック

■表示されたFibonacciIntの値をフォームに記入

- フィボナッチ数を計算することでCPUの整数演算性能を測定



```
FibonacciInt: 0.059  
FibonacciFloat: 0.067  
HeapSort: 1.086  
QuaternionIntegration: 0.377
```

自分のPCの性能ランキング

- 2学部の1年生のノートPCのデータを全部取り終えたら、自分のPCの性能がどれくらいかが分かるように、また授業で発表します
- 一番速いマシンの持ち主は誰だ？